

地方議員加入・3共済年金

累積赤字 694億円

16.5.9 毎日
3月末現在

全国の地方議員が加入する三つの年金共済会が、いずれも5年以上連続で赤字に陥り、今年3月末での累積赤字が総計694億円に達する見通しであることが分かった。自治体が一部負担し、03年度に負担率が引き上げられたが、赤字は増大している。掛け金支払期間が最低12年と短いことなどが背景にあるが、今

後、市町村合併が進むと加入議員が減少し、さらに収支悪化が予想され、制度再考を求める声が高まりそうだ。総務省は抜本的な法改正も視野に、制度見直しを検討する。地方議員の年金は、退職後に原則として65歳から支給される。加入者が最も多い町村議会議員共済会は95年度に初めて28億円の赤字と

なり、以後は毎年度9億84億円の赤字。累積赤字は今年3月末で400億円を超える見込み。95年度に残高が700億円あった積立金も取り崩され、03年度末で350億円になる見通し。99年度に54億円の赤字に転落した市議会議員共済会は、累積赤字が03年度末で237億円になるとみられる。都道府県議会議員共

◇地方議員共済会の赤字状況◇

	市議会議員共済会	都道府県議会議員共済会
95年度	28億円	4.4億円
96年度	9億円	0.01億円
97年度	19億円	0.7億円
98年度	23億円	0.1億円
99年度	84億円	12.5億円
00年度	55億円	4億円
01年度	57億円	4億円
02年度	69億円	4.6億円
03年度	65億円	18.3億円
計	409億円	48.6億円
	(03年度は見込み額)	
積立残高	350億円	1035億円
加入者	3万7167人	1万9315人
支払対象者	5万5222人	2万9056人
		115億円
		2836人
		3392人

済会も95年度から赤字続きで、累積赤字は03年度末で49億円と推計される。いずれも毎年度の赤字自体は、積立金を取り崩して穴埋めしている。積立金残高はピーク時から2〜5割減少している。各共済会は、寿命の延

びによる受給の長期化▽バブル崩壊後の運用利回り悪化▽市町村合併による加入議員の減少―などが背景にあると説明している。【野倉恵】